



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。2019年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界経済においては保護主義の台頭による先行きへの不透明感が広がった一年間でした。国内においても自然災害、異常気象が猛威を振るうとともに、相次ぐ企業不祥事により、産業界全体の信頼が低下する事態になっています。

そのような環境下、デンカは経営計画「Denka Value-Up」をスタートさせました。次の100年も成長を続けていくためのあるべき姿を描いた「3つの成長ビジョン」の実現に向けて、グループ全体で取り組んでいます。

1つ目のビジョンである「スペシャリティーの融合体となる」ために、ヘルスケア、環境・エネルギー、高付加価値インフラの3つの重点分野へ経営資源を集中しています。将来需要に対応した投資を迅速に行うとともに、海外市場の開拓を粘り強く行うことにより、スペシャリティーの融合体への方向性が全社で明確になってきています。

2つ目のビジョンである「プロセス革新による持続的な成長」では、工場でのIoT・AI・ビッグデータを活用した異常予兆診断など先進的なデジタル技術の導入と、ロボットによる自動化・省力化の推進に加えて、研究開発・業務プロセスにおいてもビッグデータやRPAの活用などを進めています。

3つ目のビジョンである「働き方改革による健全な成長」では、社員一人ひとりが仕事と生活を調和させ、やりがい充実感が持てる働き方改革と、多様な人財の活力を最大限に引き出す環境を整備するための、標準化・軽労化・多言語化を含むダイバーシティの取り組みを推進しています。

これら3つの成長ビジョンを実現するうえで、高い倫理観を保つことが社会から信頼されるための基本条件と捉えています。「環境」「安全最優先」「人財の育成と活用」「社会貢献」などESGの視点を重視した経営を行うことが当社の基盤です。そして化学会社である当社は、「安全」を全ての事業活動において最優先としております。本質安全化に向けたリスク低減活動を継続的かつ徹底的に進め、「保安」においても、リスクアセスメントを含めたマネジメントの強化を図り、より安全なプロセスを追求してまいります。

今後数年間で日本社会のみならず、世界全体が大きな変化を遂げるでしょう。その変化をさらなる成長への糧として、デンカグループは丸一丸となって、世界に存在感を示すスペシャリティーケミカルカンパニーを目指して邁進してまいります。

2019年1月1日

デンカ株式会社
代表取締役社長 山本 学